

昭和44年
2月号
No. 64

発行 宮崎県北諸郡
三股町
編集 町長 公室

三股みまた

三股町の人口

1月1日現在

男	6,944人	前月より +15
女	7,802	+3
計	14,746	+18
世帯数	3,855戸	+3



消防始式

あふれるたのもしさ

婦人消防団も特別参加

年頭をかざる恒例の消防始式は去る一月十四日、三股小学校庭において盛大に行なわれました。

おりからの寒波の中に、早朝、霜柱をふんで、自動車ポンプ二台、可搬ポンプ十三台の本町が誇る全装備をそろえて、団長以下百四十七名が三股小グラウンドに集結、団旗の入場とともに自衛隊吹鳴によるラッパの音も高らかに開会は宣せられました。

規律厳正、きびきびした節度の中に、服装、機械器具点検は進められました。中でも白はち巻姿で特別参加した婦人消防団のりりしい態度は人々の目を引きました。

そして勇しい進軍ラッパにくつ音高き大分列行進は大地をふるわし、続いての街頭行進とともに、まさに圧観を呈し、「郷土の守りは我等が双肩に」と引きしまった堂々たる団員の態度は、たのもしさが一ぱいでした。

又沖水川原頭において繰り広げられた放水訓練は、迅速果敏、かねての訓練のはげしさをしのばせ、さすがはと観衆を見はらせるものがありません。

最後の一斉放水も一糸乱れず、えがきだされたにじも色をそえて、壯観をきわめ、「ああ我れにこの団員と装備あり」と感嘆と賞賛の声が聞かれました。

最近住宅ブームで、あちらでもこちらでも新しい文化住宅が目立ちます。しかし中には家のことばかりが頭に一ぱいで農地を宅地へ家を建てるときは

宅地への転用申請を

ついでに

申請を
ついでに
後であわてることもありません。

農地を農耕以外の目的に使用する場合は農業委員会

転用申請を

申請を
ついでに
後であわてることもありません。

農地を農耕以外の目的に使用する場合は農業委員会

の許可が必要ですので農地に家や施設を建てる場合は必ず事前に許可を受けてください。

おこし

て砂利

採取し
ている
ところ
もあり

ますが、これも許可が必要ですが、許可なしで農地転用することは固く禁止されていますので十分注意してください。

町営住宅入居者募集中

建設部に今すぐ



よそおいも成って入居者を持つ勝岡団地

勝岡団地 四十七戸
 餅原団地 十三戸
 梶山団地 二十戸

今年も町営住宅が勝岡団地の小高い山の斜面に美しく立ち並び、美しい山をバックに輝きに輝いた絶好の団地です。餅原団地は餅原のほど近くにあり、列車の便により好評のようです。

父のない子どもには

児童扶養手当が

ご存じでしょうか。不遇な子どもには児童扶養手当という救いの手があります。現在三股町でこの手当を受けている子どもは五十九人おります。この外にも次のような項目に該当する子どもがおります。すぐ町営住宅部に相談してください。父母が婚姻を解消した子どもで父以外の親族から養育を受けている児童。父が死亡した児童。父が三年以上の長期療養中である児童。父が不具養疾の状態にある児童。父が出家等に行っており一年以上も遺棄されている児童。父の生死が明らかでない児童(山、海、空は三か身保障児童)とか、精神状態が極度におかれている子どもに特別児童扶養手当が支給されます。具体的な

心身障害児には

特別児童扶養手当が

身体障害児とか、精神状態が極度におかれている子どもに特別児童扶養手当が支給されます。具体的な

なんでも相談を

民生委員はこの人たち

民生委員は不幸な人に愛の手を、生活に困っている人の保護指導など社会の福祉向上にけん身的に働いておられます。昨年の十二月一日付けをもって新たに任命がえがなされたので次に紹介いたします。民生委員は心より相談に応じますので困ったこと、苦しんでいることがあったら、どしどし相談してください。

・山王原、野崎英一。勝岡森次吉。山王原、小牧フヂエ。中野、比江高志。植木、穂所広。上米、大村博。中米、屋敷善秀。谷、時任。吉、大鷲、米田美奈人。寺柱、黒澤三男。小鷲、和田勇。梶山、長尾イワ、河野トシ子。田上、今村秀正。藤木、野崎藤。松屋、谷山ミカル。大野、松山重二。前目、東泰美。櫻池、内村忠志。餅原、今村義信。上新、岩崎隆。下新、桑畑政治。今市、川上規雄。

畑作営農資金

最高三百万円まで

希望者はどうぞ

広大な南九州の畑地に対する施策として昨年南九州今町内各地で牛の肥育農家が多数ありますが、同じように肥育管理をしても、そのふりかたにかなりの差がでてきます。それで肥育経営を成功させるかきの一は養牛の選定にあります。それでただ人に頼るだけでなく、よくふるる牛を選ぶ目を養うことが大切で、

モメ農事

素牛の選び方が大切

もうかる肥育牛経営は質が全般的にくなく、肉質は質と関係があるといわれまして、できれば皮膚に弾力性とゆとりがあり、被毛がよく密生している、その質がやわらかいものを選び高価に売れる牛を飼いたいものです。

健康競う町青年駅伝

梶山チームが五連勝

去る一月十二日、三股町青年連協主催による町内一周駅伝大会がはなはだ開催されました。参加チームは六チーム、参加選手三十六名、おきから和に、若人はよく立ち、午前十時スターター直長のかけがえのピストルの号砲一発、中央公民館前を、西にスタート、延々三十二キロ、六区間のコースで抜きつ抜かれつ熱戦が展開されました。

健康を競う若人の刀走に沿道の声援も随所に見られて大会に花をそえ、盛大に終りました。成績結果は次のとおりです。

第一位 梶山チーム
 第二位 田上チーム
 第三位 宮村チーム
 第四位 新橋山Aチーム
 第五位 梶山Bチーム
 第六位 梶山Cチーム
 梶山チームは九州一周駅伝参加の溝口君等の活躍がめざましく、これで五連勝した。



いよいよスタート

引揚者特別交付金の請求
 昨年より実施している引揚者特別交付金の請求事務がいよいよ最終段階に入り、早い人はすでに給付を受け、人も多くあるようです。

やけどをしたたら すぐ冷やすこと

やけどは身体の三分の一以上受けたら生命に危険だといわれます。今ごろ私たちの家庭ではストーブ、炭ごたつ、アンカ、熱湯などやけどを受けやすい条件がそろっており、特に幼児は危険です。子どもがやけどをしたら直ちに落着いて最小範囲の軽度くらいとめる方法をとる必要があります。それは熱湯や熱湯が身体にかかったら直ちに冷水をかけて冷やすことが大切です。油がかかった場合は冷水で冷やしたところなどで十分冷やしてください。やけどによくしょう油をつける人がありますが、これは化膿しやすいのでやめてください。冷水で冷やした後液状のオリブ油を塗ってすぐ医者に行くこと、これが最も適切な療法です。

恵まれない

おとしよりに

さしのべる愛の手

奉仕するホームヘルパー



もむ手にも愛情が

人はよる年なみには勝てず、七十、八十の声を聞くころになると目が見えなくなったり、耳がきこえなくなったり、ついには手足も不自由になってまいります。こんな時子どもなどの同居家族に恵まれている人は、まあよいとしても、世の中にはたよる人としてないしあわせなおとしよりも見かけられます。

本町では昭和四十一年からこのホームヘルパーを置いて身よりのないおとしよりのお世話をしております。このホームヘルパーは齊藤久子さん(四十九才)ですが、町内で最も恵まれないおとしより六名を順次訪問して献身的に奉仕しております。

齊藤さんは肉身でもよい顔をしていないような「こんな仕事がつとまるだろうか」と心配もし、事実大変な苦勞だったようです。しかし「この人たちをほおってお

いてはならない」と一生懸命に働いて、だんだん仕事にもなれ、又相手のおとしよりもまた来る日を指折り数えて待ちわびるようになり、お互いにいつしかたちがたい愛情もわきいで、今ではこれ

ねずみは百害あって一利なし、食糧をくいあらず、戸やかべをかじる、夜中に天井を走りまわる、はては病菌までまきちらす。ねずみは全くいやな動物です。しかもその繁殖力は、ねずみ算などといわれるように想像以上におう盛だといわれます。

ただ今ねずみの一斉駆除運動が展開されており、期間は二月一日から三月二日までです。ねずみのいるところは、はえや蚊の発生源にもなっていますのでねずみの徹底駆除は、はえや蚊の発生予防にも役立ちます。

が「私の天職」と毎日誇りと喜びをもって働いております。この献身的な奉仕ぶりが昨年十二月テレビ放送されたから、その反響は大きく九州各地から感謝とはげましの便りがよせられております。又「恵まれないおとしよりのために使ってください」と匿名の送金も数多くあるそうです。

二月は強い季節風が吹き空気が乾燥していますので大火になりやすいものであります。火の元はだいたいようぶでしようか。タバコの火、コタツの火、ふる場の火をもういちど確かめましょう。プロパンガス、石油コンロのせんはしまっていますか。たき火の後始末を忘れてはいませんか。

「なぜでしょうね、兄弟げんかばっかりするんですよ」と兄弟げんかに悩むおあさんも多いようです。おとなの兄弟げんかは、シコリを残して百害あって一利なしで感心したものであります。兄弟げんかは仲がよく気心がしれているからするので

子ども火遊びも火災の大きな原因になっていきます。よくたまるテレビの内部のほこり時にはテレビの裏のふた

一種のレクリエーション?とも言えましょう。そうでなくとも「兄弟の人間関係のできてゆくための必要品だ」と言う人もあります。けんか一つしないで成長すると、おとなになってもさっぱり頼りにならず、借金を申しこんでも貸してもくれないような人間に成長しかねないそうです。

道具をこわす、取っ組み合いでもはじまらない限り、兄弟げんかは捨てておくのが一番でしょう。

二月はいちばん火災の多い月

左の方々から香典がえしとして町社会福祉協議会にあなたたいご寄附をいただきました。紙上をもって厚くお礼申し上げます。この浄財は町の社会福祉事業に役立てさせていただきます。

ありがとうございます

△荒武フミ、五千元△瀬尾隼太、五千元△山領正徳二千元△大崎利長、五千元△横山シヅエ、四千元△平田功、三千元△山西親雄、五千元△橋口虎斗男、五千元△間世田キヨ、三千元△久保田秀雄、一万元△頼川徳安、三千元△山領秋子、五千元△原口正雄、五千元△大重則安、三千元△堂領宏、一万元

愛のご寄附

ただし故障は専門家にまかした方が無難です。